

**製品名: LTK (13P18) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe13475**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IF-P
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:100,IF-P 1:50-1:100
分子量	92kDa

**抗原情報**

遺伝子名	LTK
別名	Ltk; TYK1;
遺伝子 ID	4058.0
SwissProt ID	P29376
免疫原	ヒト LTK の合成ペプチド

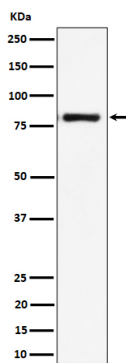
**背景**

チロシンタンパク質キナーゼ活性を持つオーファン受容体。このタンパク質の正確な機能は不明です。キメラタンパク質（細胞外領域を EGFR や CSFIR などの既知の成長因子受容体の領域に置き換えたもの）を用いた研究では、成長、特に神経突起の伸展、および細胞生存を促進する能力があることが実証されています。チロシンタンパク質キナーゼ活性を持つ受容体。このタンパク質の正確な機能は不明です。キメラタンパク質（細胞外領域を EGFR や CSFIR などの既知の成長因子受容体の領域に置き換えたもの）を用いた研究では、成長、特に神経突起の伸展、および細胞生存を促進する能力があることが実証されています。シグナル伝達には PI3 キナーゼ経路が関与していると思われます。小胞体（ER）輸送部位（ERES）および ER からゴルジ体への輸送を含む分泌経路の調節に関与しています。

## 研究分野

シグナル伝達、タンパク質リン酸化、チロシンキナーゼ、受容体チロシンキナーゼ、成長因子/ホルモン、インスリン/インスリン様物質、代謝、エネルギー代謝、経路とプロセス、代謝シグナル伝達経路、エネルギー伝達経路

## 画像データ



Raji 細胞溶解物中の LTK 発現のウェスタン プロット分析。